

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和 2 年度『学校だより』

第9号 R2, 1 2, 5

校長 佐藤 秀美

文責 教務主任 齋藤 康則

研究公開

11月27日（金）に「令和2年度教育研究公開」を行いました。

この公開は「やわらかな感性で、しなやかに学び合う子どもの育成」を主題として取り組んでいる本校の実践を県内の先生方に紹介するもので、本年度は、約210名の県内の教員をはじめとする学校関係者が、子どもたちの学びの姿を参観しました。感染症対策として、参会の先生方には、教室とは別の会場でオンラインで参観していただき、教室での密を避けるとともに、児童との接触をできるだけ避けるようにしました。また、本校の伝統である愛の庭での「歌声集会」の様子も見ていただきました。今年話題の「古閑裕而」にちなんだ発表に、退場の際には会場から割れんばかりの拍手が起こりました。先生方のアンケートには、「子どもたちの真剣に学んでいる姿が見られた」「のびのびと歌っている様子がすばらしかった」との感想が綴られています。



開催に際しては、PTA本部役員、学級委員長、そして三小サポーターの皆様には、「駐車場誘導」「学校案内」「受付」「会場設営・片付け」そして、感染症対策として「入口での検温」「場内消毒作業」「昼食会場の設営（パーティションの設置）」など、多岐にわたるご協力をいただきました。今回のコロナ禍の中にあってこれだけ成果を収めることができたのは役員の皆様のおかげでありました。本当にありがとうございました。

また、教室での授業の様子をリモート会場に投影することや、全体指導の「東京大学大学院教授秋田喜代美先生」とオンラインで結び、授業の様子を東京で見ていただき、全体会でご指導をいただく技術に「NTT東日本福島支店様」の協力をいただきました。この技術により、参観者が教室に入らずに授業を見ることができました。本当にありがとうございました。



食生活の乱れは、 心身のバランスも乱す。

心身の成長期にある子どもにとって食事は極めて重要なものです。

最近、子どもの朝食欠食や孤食、偏った栄養摂取による肥満傾向の増大、生活習慣病の若年化など、食に起因するさまざまな健康問題が生じています。

子どもの健康な身体^{からだ}の形成のため、栄養バランス(※)のとれた食事をつくってあげるよう心がけましょう。もちろん、食事は単に子どもに栄養を与えるだけのものではありません。親が心を込めてつくった食事は、親の愛情を自然に子どもに伝え、それによる満足感・安心感は子どもの心を豊かで強いものに育てる機会にもなるのです。

※食事の望ましい組み合わせなどを図示した「食事バランスガイド」について

(財)食生活情報サービスセンター・・・<http://www.e-shokuseikatsu.com/>

栄養バランスのとれた食事をとる

児童生徒の主な食品群の充足率

■ 小学校 女子 ■ 小学校 男子 ■ 中学校 女子 ■ 中学校 男子



(注) 小学校3,396人 中学校3,395人を対象に調査

資料: 「平成14年度児童生徒の食事状況調査報告書」 独立行政法人日本スポーツ振興センター

※「食事バランスガイド」について(財)食生活情報サービスセンター・・・<http://www.e-shokuseikatsu.com/>

100%が目標値 (=心身の健康を守り、育てるための目安となる量) です。